

食品流通高度化推進調査（新規）

《未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち流通の効率化・高度化》

【18百万円】

対策のポイント

食品流通の高度化の推進と生産者の所得向上を図る観点から、生産から消費に至る各段階の関係者が一体となって行うコールドチェーン体制づくりなど、卸売市場における品質管理の高度化のための取組について調査・検討を行います。

<背景/課題>

- ・我が国の食品流通においては、食の安全・安心の確保など社会的要請が高まる中、食品流通の大宗を担う卸売市場においてコールドチェーンが途切れないようにするなど、農産物の品質保持システムの確立が求められています。
 - ・このため、卸売市場において品質管理の高度化を図る上での課題等を整理して方向性を示していくことが重要です。
- ※コールドチェーンとは、生産・輸送・消費の過程において、生鮮食料品を一貫して低温に保って流通させることです。

政策目標

農産物の品質劣化防止による農家所得の向上

<内容>

業界関係者や食品流通の専門家から成る委員会を設け、現地調査を踏まえて、品質管理の高度化を図るための体制の導入効果の分析と課題整理を行った上で、卸売市場における品質保持システムを現場に適用していくに当たっての重要点を整理した指針を作成します。

【定 額】

<事業実施主体>

民間企業等

<事業実施期間>

平成22年度

[お問い合わせ先：総合食料局流通課（03-6744-2059（直））]